

# 化粧コンクリート仕上げ用

# Pコンエース

Sealing cone hole cover and makeup mortar

## 【無収縮タイプ】Pコン穴(セパ穴)充填材



### 荷 姿



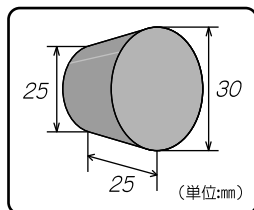
10kg紙袋



10kg箱(2kg×5袋)

### 標準施工面積

約430ヶ所／10kg  
約85ヶ所／2kg  
(5ヶ所／m<sup>2</sup>)



日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1708006
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用

### 特 長

#### ①無収縮

Pコンエースは、無収縮性を有する為、施工後の肉やせがなく、経年に起因する剥落を抑制します。

#### ②セパレータが錆びない

Pコンエースは、防水性や付着力に優れていますので、長期間に渡ってセパレータの防錆効果が持続します。

#### ③自然な仕上がりに

Pコンエースは、コンクリートに近い色に調色しています。

### 試 験 表

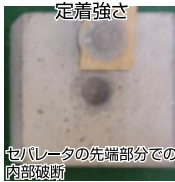
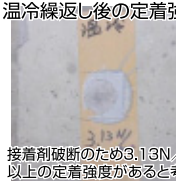
下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

#### (1) 品質性能試験


二瀬窯業株式会社試験室

試験項目 [単位]	Pコンエース	現調モルタル(1:3)	試験方法	
曲げ強さ [N/mm]	材 齢 1 日	5.7	3.0	JIS A 6916
	材 齢 3 日	7.6	4.5	
	材 齢 7 日	8.5	5.7	
	材 齢 14 日	9.0	6.0	
	材 齢 28 日	9.5	6.2	
圧縮強さ [N/mm]	材 齢 1 日	33.9	12.6	JIS A 6916
	材 齢 3 日	56.1	28.3	
	材 齢 7 日	57.4	33.6	
	材 齢 14 日	62.8	35.6	
	材 齢 28 日	65.8	35.7	
長さ変化率 [%]	0.06	0.09	JIS A 1129	
透水試験 [ml/h]	0.05	0.4	JIS A 6916	

#### (2) 定着強さ試験

試験項目 [単位]	試験結果	試験方法
定着強さ [N/mm]	2.45	150×150×150(mm)の型枠にPコンを取付けてコンクリートを打設した試験体にPコンエースを充填し、材齢28日まで養生した。
温冷繰返し後の定着強さ [N/mm]	3.13	
 セパレータの先端部分での局部破断	 接着剤破断のため3.13N/mm以上の定着強度があると考えられる。	エポキシ系接着剤にてアタッチメント貼り付け、硬化まで静置後に建研式接着力試験器を用いてアタッチメントを引っ張り荷重を測定した。荷重からPコン穴(φ30)の面積で割り、定着強さを求めた。
		温冷繰返し試験後の定着強さ試験において試験体の作成方法(養生方法)については、JIS A 6909の試験方法に準じて行った。測定試験は上記の定着強さの試験方法にて行った。

#### (3) 暴露試験

試験項目	試験結果	試験方法
暴露試験	錆びなし	定着試験後の試験体(セパレーター部分で破断していないもの)を屋外に打設面を上に向け軽く斜めにした状態で半年間放置し、試験体を半分切断したものに対してセパレーター部分の錆の有無を目視にて確認した。
 1/13 打設 材齢6ヶ月暴露		



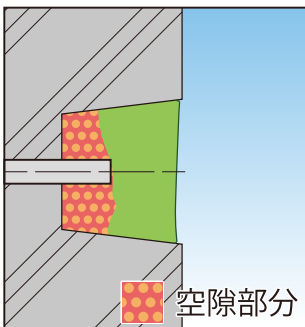
二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development



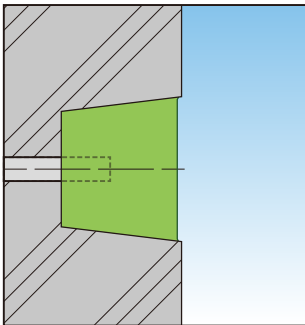
Pコンエースは超固練り(パサモル)タイプの材料です。

### 《間違った施工》

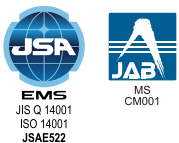


材料の充填不足で空隙部分が残ると浸水等によって金具が錆びて爆裂したり、剥落などが発生する可能性が高まる。

### 《正しい施工》



材料が奥まで適正に充填された状態。長期間に渡って剥落などを効果的に抑制する。



ISO 14001取得企業

### 施工方法

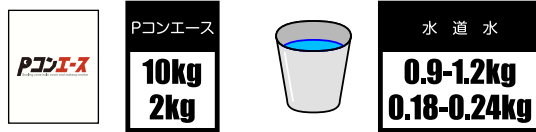
施工について詳しくは施工要領書をご請求ください。

#### <下地の準備>

- ・Pコン穴(セパ穴)部分のレイタンス処理を行い、水洗い等で健全な部分まで清掃してください。
- ・セパレータの金具部分に錆が見られる場合は除去してください。

#### <Pコンエースの混練>

- ・混練後60分以内に使い切れる量を手練り等で混ざりムラのないよう均一に練り混ぜてください。
- ・混練後は、水がとばないように日陰に置く等してください。



#### <Pコンエースの充填>



- ・何層かに分けながら突き固め、木コン鍍等によく押し固めて平滑に仕上げてください。

※過剰な摩擦をかけて仕上げた場合、表面が黒くなる場合があります。

#### <養生>

- ・塗り付け後急激な乾燥・凍結がないように適切な方法で養生を行ってください。

### 注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

Pコンエースの施工前には必ずカタログや施工要領書、安全データシート等をよく読んで注意 safety を十分に理解した後に施工を行ってください。

- ① ご使用にあたってはマスク、手袋、防塵マスク等を使用してください。
- ② 目に入った時は、清浄な水で洗眼した後、直ちに医師の手当てを行ってください。
- ③ 飲み込んだ場合は、水で口の中を洗い、直ちに医師の手当てを受けてください。
- ④ 材料の保存は、地面や床へ直置きしないようパレット等使用して湿気を避け、直接日光や雨が掛からないようシート掛けなどを施してください。
- ⑤ 降雨・降雪時の施工は行わないでください。
- ⑥ 気温5℃以下及び5℃以下になると予想される場合は、施工は行わないでください。
- ⑦ 固くなった材料への再加水は行わないでください。
- ⑧ Pコンエースには練水の他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
- ⑨ Pコンエース施工後の硬化前の雨水等による濡れは、白華(エフロレッセンス)の原因となりますので注意してください。
- ⑩ Pコンエースの品質保持期間は10kg袋が製造後4ヶ月、2kg袋が製造後6ヶ月です。

⚠ Pコンエースは、安全に正しくお使いください。

施工要領・SDS等は別途ご請求ください

20210913.21